

マレーシア・サラワク沖 ヘラン・ガス田の生産を開始

平成 15 年 11 月 20 日

帝国石油株式会社

帝国石油株式会社（本社：東京都渋谷区、社長：磯野啓）が出資する日石マレーシア石油開発株式会社（代表取締役社長：甲斐 勝、以下NOMA）は、オペレーターとして参加しているマレーシア・サラワク沖 ヘラン・ガス田において生産を開始いたしましたことをお知らせいたします。

本プロジェクトは、NOMAが 75%の権益を保有するマレーシア・サラワク沖 SK-10 鉱区での探鉱活動の結果、1990 年にヘラン・ガス田を発見し、商業生産に向け 2000 年 4 月に天然ガス生産設備の建設に着手、3 年半に亘る開発作業を経て、11 月 18 日より生産を開始したものです。ヘラン・ガス田の生産量は、天然ガス：日量最大約 700 万立方メートル（原油換算：日量約 4 万バレル）、コンデンセート：日量最大約 1 万バレルとなる予定です。

NOMAの株主は、新日本石油開発（株） 40.15%、帝国石油（株） 15.00%、三菱商事（株） 6.27%、石油公団 38.58% であり、SK-10 鉱区での本プロジェクトの権益保有者は、NOMA 75.0%、チャリガリ（マレーシア国営石油会社ペトロナスの開発子会社）25.0% となっております。

NOMA では、生産した天然ガスおよびコンデンセートを、ともに海底パイプライン経由でサラワク州ビンツルに輸送し、新日本石油（株）他が出資するマレーシア LNG ティガ社のプラントにおいて分離・液化（LNG化）したうえ、LNGについては日本国内の需要家などに、コンデンセートについてはペトロナスに販売いたします。

また、マレーシアでは、当社は日石サラワク石油開発（株）にも出資しておりますが、同社は、この度商業生産を開始したSK-10 鉱区の近隣に位置するSK-8 鉱区内のセライ・ガス田およびジンタン・ガス田において天然ガスの開発作業中であり、セライ・ガス田が 2004 年第 2 四半期、ジンタン・ガス田が 2004 年第 3 四半期より商業生産を開始する予定です。これにより、2004 年第 3 四半期以降においては、SK-10 およびSK-8 の両鉱区合計で、天然ガス：日量最大 2,900 万立方メートル（原油換算：日量約 18 万バレル）、コンデンセート：日量最大 2 万 3 千バレルの生産が期待されており、我が国におけるエネルギーの安定供給に大きく貢献する見込みであります。

以上

マレーシア・ガスプロジェクトの概要

	SK-8 鉱区		SK-10 鉱区	
権益保有者 (※ホールドラー)	※シェール ……37.5% 且石サラワク…37.5% チャリガリ ……25.0%	新日石開発 39.02% 石油公団 37.48% 帝国石油 15.00% 三菱商事 8.50%	※日石マレーシア 75.0% チャリガリ ……25.0%	新日石開発 40.15% 石油公団 38.58% 帝国石油 15.00% 三菱商事 6.27%
開発対象ガス田	ジンタン・ガス田	セライ・ガス田	ヘラン・ガス田	
開発開始時期	2002年1月	2002年12月	2000年4月	
生産開始時期	2004年第3四半期	2004年第2四半期	2003年第4四半期	
Pj会社投資額	約92百万米ドル	約36百万米ドル	約360百万米ドル	
生産量(予定)	日量1,800万m ³	日量450万m ³	日量700万m ³	
LNG換算	約420万トン/年	約100万トン/年	約160万トン/年	
原油換算	約11万バレル/日	約3万バレル/日	約4万バレル/日	
コンデンサート	約1万バレル/日	約0.3万バレル/日	約1万バレル/日	



